

1年	単 元 名	いきものとなかよし
(教科)生活		

1. 単元の目標

身近な生き物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所や、変化の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることに気付くとともに、生き物への親しみを持ち、大切にしようとすることができるようにする。 内容(7)

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

- ・自分が飼育、観察したいと考えている生き物について、本を使って調べている。
- ・児童が知りたいと思った時に、すぐ調べられるように図鑑等を用意しておく。

3. 児童について(略)

4. 単元指導計画

次	内容
1	<p>むしをさがそう</p> <p>①校庭に出かけて虫を探したり、観察したりした後、教室に戻って虫を捕まえる計画を立てる。</p> <p>②虫を探したり捕まえたりする。</p> <p>③捕まえた虫を友達と見せ合い、捕まえた場所や捕まえ方、知りたいことなどについて話し合う。</p>
2	<p>むしとなかよくなる</p> <p>④捕まえた虫を観察し、詳しく調べる。(本時)</p> <p>⑤虫の世話を続け、様子を記録する。</p> <p>⑥虫をこれからどうするのか話し合い、元いた場所に帰す。</p>

5. 授業での活用場面

○ねらい 自分が知りたい生き物を、観察したり本で調べたりすることを通して、生き物への親しみを深める。

学習活動	学校図書館の関わり
<p>1. 本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>むしとなかよくなるう！ 「むしのひみつをみつけよう！」</p> </div> <p>虫のひみつ…生き物の名前 生き物の飼い方 すみか えさ 足の数など体のつくり 生き物の様子(動き) など</p> <p>2. 図鑑の使い方の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな時に図鑑を使えばいいのか。 ・生き物の名前が分からない時は目次を使う。 目次…本の前の方にある。 出てくる順に並んでいる。 なかまごとになっている。 ・生き物の名前が分かる時は索引を使う。 索引…本の後ろの方にある。 「あいうえお」順に並んでいる。 探すのが簡単。 <p>3. 生き物について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをひみつカードにかく。 <p>4. 調べたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひみつカードに書いたことを発表する。 <p>5. 本時の振り返りをする。</p>	<p>○事前に必要な資料と学習内容を学校司書と共有しておく。</p> <p>○児童が調べたい内容を予測し、学校司書と共有しておく。</p> <p>○分からないことがあったら図鑑で調べればよいことを伝える。</p> <p>○図鑑の使い方を確認する。事前に虫の図鑑を使って学習したことを思い出せるよう、実際に図鑑を開いて説明をする。</p> <p>○自由に図鑑等を見てもよいこととする。どの本を見ればよいか、どのページを見ればいいのか等悩むと予想される。事前に予測されるページには付箋を貼っておいたり、相談にのったりする。(担任・学校司書)</p> <p>○自分の知っていることを図鑑で確認しても良いことを伝える。</p> <p>○本から得た情報の発表もあると思われる。図鑑等の良さを共有するため、図鑑を調べて情報を得ることができたことにも触れる。</p>

6. 考察（成果や課題等）

校庭周りの草むらにはバッタやコオロギなどたくさんの虫がいる。児童にとって学校の周りにはいる虫は身近で、また今までの経験もあり、虫を捕まえたり捕まえた虫を飼ったりと意欲的に取り組んだ。登校したら身支度を終える前から虫のことが気になり、ランドセルを背負って観察したり、自然に図鑑を広げて虫を探したりする姿も見られた。虫を捕まえることが苦手な児童もいたが、友達が捕まえた虫を触ってみたり、虫かごの中の虫を観察したりしながら、関心を持つことができた。

本時では、より虫への親しみを深めるために、「むしのひみつをみつけよう」と取り組んだ。児童は自分の仲良くなりたい虫についてそれぞれの思いを持ち、観察することができた。虫を手を持ち、飛ぶのか飛ばないのか試してみたり、ものさしを持ち出し長さを計測したりしていた。その中で、図鑑を手に取り、目次や索引を使って調べる姿も見られた。図書資料を必ず使わなければいけないのではなく、使いたいときに使うとしたことは主体的に活動できたことにつながると感じた。新しく知ったことをカードに書いたり、周りの人に伝えたりする姿が印象的だった。本時の学習の流れが調べることで終わってしまったので、途中で中間発表の場を設けてもよかった。友達の発表を聞くことで、今後の新しい視点につながることもある。より主体的・対話的な学びができたのではないかと考える。

今回の授業に取り組むにあたり、学校司書と日々情報共有を行った。なかなか時間を作るのが難しかったが、よりよい支援のためにも打ち合わせの重要性を感じた。

本時の学習とは別に、学校司書と図鑑の使い方についても学習した。目次、索引の使い方も知らないと適切に使えないので、使い方を教えることも大切だと感じた。昆虫の図鑑で学習は行なったが、学校には他にも図鑑があることを知らせた。本単位とは関係がないが、植物の図鑑を借りて家の植物を調べたり、休憩時間に植物の図鑑をもって校庭に咲いている花を調べたりしている児童も見られた。本時の学習だけには留まらず、児童の今後の学習にもつなげていきたいと考える。

